

千葉県社保協通信

2021年度 No.15 2022年 1月 31日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉サカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

社会保障と憲法を一体に 9条+25条の運動を広げよう! = 1.28 署名提出国会集会 = 新しいのち署名&介護署名など

28日、全労連・全日本民医連・中央社保協など5団体による署名提出行動が衆議院第1議員会館で開かれ、千葉県社保協からは千葉土建、県民医連、千葉労連、地域社保協などから15名程がWebなどで参加しました。

午前の集会では、医療・介護・保健所などの現場から抜本的な拡充を求める声が相次ぎました。

横山壽一氏(佛教大教授)が講演。自公とその補完勢力による、憲法改悪の動きの危険性を指摘。「新しい資本主義=新自由主義」政策か、そこからの転換かの対決がいつそう鮮明となったとし、岸田政権のコロナ対策や社会保障政策を批判。新たな国会情勢の中でのたたかひの展望を示しました。

午後は、介護現場からの発言とミニ学習。千葉県社保協から加藤久美さん(千葉民医連事務局長)が「介護・認知症なんでも無料電話相談」に寄せられた「苦悩」や「叫び」を真正面から捉え、介護する人・受ける人がともに大切にされるよう「介護の社会化」めざし、制度の抜本的改革を求めたいと発言しました。

●コロナ禍で医療のひっ迫が叫ばれている。医療・介護の現場は相変わらず労働者が足りない。それでも頑張っているエッセンシャルワーカーの賃金は様々な業種の中でも最低ラインにある。

政府は何をやっているのだ。機能しているのか甚だ疑問だ。社会保障に充てると消費税増税しながら制度改悪の話しか聞こえてこない。国民生活に必要な制度をしっかりと整備して差別や格差のない社会にしたい。7月には参議院選挙だ。「市民と野党の共闘が不可欠」と思った集会でした。

(千葉労連/日暮一浩)

- ◎新しいのち署名 / 77,310 筆
- ◎介護保険制度の抜本的転換 / 196,073 筆
- ◎75歳以上医療費2倍化中止 / 171,218 筆
- ◎安心できる年金と雇用 / 90,933 筆 を提出



県社保協・消費税廃止連絡会・憲法共同センター

市民と野党の共闘で 憲法改悪 ストップ !! 消費税5%引き下げ いのち・くらしを守る政治実現を !!



土建・新婦人・労連・千商連・国民救援会・私教連・共産党・県社保協の八団体 十一人が参加。

1月25日(火) 12時~13時。
千葉駅そごう側通路にて、3団体
共同の定例宣伝を行いました。

「改憲を狙い、大軍拡と大企業・富裕層優先の政治を強める岸田政権は5兆円超の軍事費を予算計上。敵基地攻撃能力を高めるなど論外。平和的解決を目指し、軍事費を削って、税金をコロナ対策に回せの声をあげよう」などと訴えました。

高齢男性は、「コロナが続いているのに、国は私たちに何もしてくれないように感じる」と、「安全・安心の医療・介護・福祉の実現」「消費税5%引き下げ」「憲法改悪許さない」の3署名に応じました。

憲法=7筆・消費税=4筆・いのち署名5筆 計16筆でした。